
蝙蝠の滝遠景

◇豊後大野市資料館ジオパークミュージアム

豊後大野市資料館ジオパークミュージアムでは、豊後大野の自然や歴史・民俗に関するさまざまな資料、岩石、化石・鉱物などを展示・収蔵し、おおいた豊後大野ジオパークの大地の成り立ちから、そこに育まれた豊かな自然や、人々によって紡がれてきた歴史、文化、産業の発展について深く知ることができます。


豊後大野市資料館ジオパークミュージアム館内

◇ふれあい．学びの杜　豊後大野市図書館

令和３（2021）年１月30日に開館し、同年２月２日から利用が開始されました。

◇用作公園（ゆうじゃくこうえん）

用作公園は、江戸時代に岡藩家老の中川平右衛門長伸が藩主より賜った別荘地で、明治13（1880）年に吉良家が譲り受け、現在では豊後大野市が管理しています。

岡藩の参勤交代の経路に位置するこの地には、藩主中川氏が参勤交代の途上などにたびたび立ち寄るとともに、田能村竹田（たのむらちくでん）や頼山陽（らいさんよう）といった文人墨客も多く来訪し、岡藩の玄関、接客所としての役割を果たしました。心字池を中心に、500本を超えるモミジやカエデなどの紅葉樹が植えられ、11月の紅葉期間中の週末や祝日にはライトアップが行われ、多くの見物客で賑わいます。


心字池


紅葉に彩られる園内

◇宝生寺（ほうしょうじ）

800年の歴史を持つ、由緒ある寺。豊後の大守鎮（たいしゅちん）西探題（ぜいたんだい）、大友出羽守親隆公の祈願によって再建されました。

「彩の宝生寺」「宝生寺の秋」と言われるほど、秋の紅葉時期には鮮やかな彩りを放ちます。


ライトアップされた宝生寺

◇神楽会館

神楽会館は、豊後大野市内の神楽をはじめとする、伝統文化の継承・発展及び担い手の育成、並びに情報発信や交流促進を図るための拠点施設として平成21（2009）年６月にオープンしました。



神楽会館

◇緒方井路（いろ）

かつて「緒方五千石」と称されたほどの米どころ緒方盆地約 230ha の農地を潤す農業用水路。
豊かな水をたたえた「井路」とよばれる水路が町中をめぐる風景は、緒方町独特の景観です。

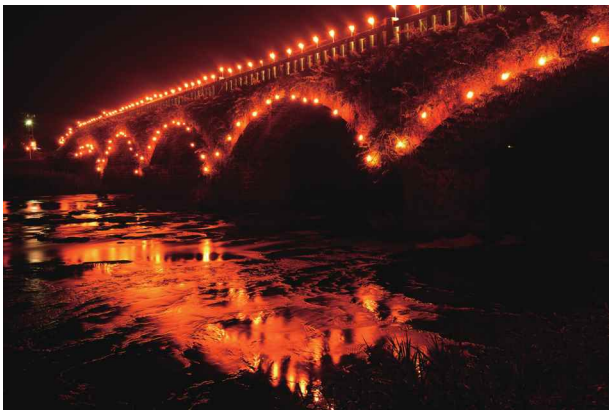
農林水産省の「疎水（そすい）百選」にも選定されています。


町中を流れる緒方井路

◇緒方川と緒方盆地の農村景観

緒方川流域において、阿蘇火山の噴火がもたらした溶結凝灰岩の地盤上に成り立った地形における河川と井路群・井路網の関係性、時代ごとに推移、開削されていった井路、水の恵みに感謝する文化の構築等、水と石が織りなす景観を「緒方川と緒方盆地の農村景観」として取り上げ、令和５（2023）年３月 20 日に国の重要文化的景観に選定されました。


緒方盆地の景観


小松明火祭りの際は原尻橋にも松明が灯ります

◇稲積（いなづみ）水中鍾乳洞

３億年前の古生代に形成され、30 万年前の阿蘇火山大噴火により水没し現在の形となった鍾乳洞。

洞内には水中鍾乳石や珊瑚石、ベルホール、ヘリクタイトなどが数多く見られる世界的にも珍しい水中鍾乳洞です。


鍾乳洞内部

◇大原総合公園（大型複合遊具）

「豊後大野　いいとこめぐり」をテーマ・コンセプトに、豊後大野市の魅力あふれる名所やキャラクターなどのイメージを遊具に盛り込み、「ヘプタゴンとなばっピーのワンダーアドベンチャー」として遊具に統一感を持たせています。

また、「多種多様な遊び機能」「遠くからでも目立つ高さやカラーリング」「みんなで遊べるユニバーサルデザイン」などが遊具のポイントです。

遊具は、児童用エリア、幼児用エリア、乳幼児用エリア、ユニバーサルエリア、インクルーシブブランコ、ロープウエイなど49アイテムと、地域産材を使用した東屋を1棟、水飲み場を設置しています。



複合大型遊具と桜

◇えぼし公園

烏帽子岳の東側、浄水寺の境内にある公園です。

県内でも有数の桜の名所で、季節になると、濃いピンクの花が幾重にも重なり、優雅な花の房が特徴的なボタンザクラが咲き誇ります。開花時期が４月中旬から５月上旬までと長いのが特徴です。

毎年約500本が開花し、烏帽子岳の山肌を鮮やかなピンク色に彩ります。毎年４月頃に「えぼし岳ぼたん桜祭り」が開催されます。



ボタンザクラが満開の頃のえぼし公園

◇朝倉文夫記念館／記念公園

大野郡上井田村（現豊後大野市朝地町）出身で、日本近代彫刻の基礎を築いた「東洋のロダン」と言われた朝倉文夫の偉業を伝える場所。

記念館では、朝倉の学生時代から晩年までの作品やゆかりの品々の展示、ビデオ上映などを行っています。



四季の折々の花と芸術作品を楽しめる園内

◇総合文化センターエイトピアおおの

豊後大野市総合文化センターは、平成10（1998）年の開館以来、豊後大野市内外の来館者が、一流の芸術から日常的な文化活動に至るまで、さまざまな感動に出会える場所として活用されています。

車椅子席を含む1,001席の大ホールから、300席の小ホール、会議室や和室などの多様なニーズに応える機能を備えています。



エイトピアおおの外観